

松阪牛の

ふるさと松阪市

を 楽 しもう

松阪牛の味に舌鼓を打ったあとは、この味が生まれた自然と風土、そしてこの土地の人々とその歴史に思いを馳せてみませんか。



松阪の歴史を歩く

今に残る史跡が伝える、まちと人が重ねてきた歴史

松坂城跡

松坂城は天正16年（1588）、文武両道の将として名高い蒲生氏郷によって築城。経世にすぐれた氏郷は築城とともに城下町の精妙な設計・整備を行い、そのお陰で松阪のまちは商都として発展していきました。1644年の台風で天守が倒壊してしまいました。今なお残る立派な石垣は市のシンボルの存在で桜や藤、銀杏が石垣を彩り、四季を通じて市民に親しまれています。国史跡として指定された城跡から望む町並みは一見の価値あり。



松阪市殿町

御城番屋敷

（こじょうばんやしき）

江戸末期に紀州藩士たちが松坂城警護のため移り住んだ、組屋敷と呼ばれる長屋形式の武家屋敷。建築物としても珍しいもので国の重要文化財にも指定されています。屋敷の周辺には整然と巡らされた楨垣と石畳が情緒を添え、まるでタイムスリップしたような気分になれる人気の散策スポット。西棟北端の一軒は公開されており、当時の武家の暮らしを知ることができます。



松阪市殿町1385 ☎0598-26-5174
10:00~16:00 (入場無料)
定休/月曜(月曜が休日の場合は翌日)・年末年始

市場庄の街なみ

交通の要衝でもある松阪には主要都市間をつなぐいくつもの旧街道が通っており、江戸時代には参宮街道として多くの人々が駕籠や馬、徒歩で日夜往来して賑わっていました。このうち伊勢街道の市場庄地区は当時の面影を色濃く残しており、全国的にも珍しい妻入り（つまいり）と連子格子（れんじこうし）のある古い町並みを散策することができます。



松阪市市場庄町

射和の街並み

射和は、隣接する多気町丹生地区の産する水銀から作られる軽粉を「伊勢白粉（おしろい）」として全国に売り歩き、巨大な富を築いた射和商人の発祥の地。街道沿いに大きな屋敷を構えた豪商の邸宅が立ち並び、かつての繁栄がしのべれます。



松阪市射和地区(中万町)